

議長に資料等の掲示の許可を取っておりますので、質問中で掲示させていただきます。

大項目1. **1. 横田基地について** 中項目1、

(1) オスプレイの事故及び整備について

①防衛省は11月8日、米海兵隊が運用するMV22オスプレイの重大事故について、10万飛行時間当りの発生率が9月30日時点で、3.27となったと認め公表しました。今年10月10日時点での海兵隊機全体の事故率の2.72を上回っています。2012年に沖縄普天間基地へのオスプレイ配備にあたり、飛来を予定する基地周辺の自治体にも国が説明に廻りました。福生市、羽村市、昭島市、武蔵村山市、立川市、瑞穂町の5市1町などです。こうした説明を横田基地対策特別委員会に所属する私も受けました。この時の説明では「2012年4月時点のオスプレイの事故率は1.93で、海兵隊機全体の平均2.45を下回っている。飛行実績が増加するとともに、事故率は下がると考えられる。沖縄配備機はCVでは無く、MVなので安全。」と、説明していたことを私は覚えています。しかし、当時の説明とは逆に1.93の約1.7倍の3.27に事故率が上昇、政府が繰り返す「安全」の説明に根拠がないことが浮き彫りになって来ています。市民の安全・安心を守る立場から、どう対処されるのかお聞かせ下さい。

②米海兵隊MV-22オスプレイの定期機体整備状況についてですが、木更津駐屯地で、MV-22オスプレイの定期機体整備が、今年2月1日から行われ、当初予定9月の試験飛行は、予定変更され来年になりました。オスプレイは機体の分解・点検を5年に1回行う必要があるとのことですが、沖縄にある24機と、自衛隊購入予定の17機、横田配備予定のCV-22オスプレイ10機、合わせて51機を5年毎実施するとするならば、一巡するためには月間1機程度のペースが必要なのに、1機だけで1年近くもかけて大丈夫なのか、国からどう説明を受けているか、お聞かせ下さい。

③オスプレイの事故報道が絶えません。昨年12月13日普天間基地所属EP-06が沖縄県安部^{あぶ}で墜落事故。同日に普天間基地で胴体着陸事故もありました。今年に入って1月28日中東イエメン南部バイダ州でハードランディング事故、現地で破壊措置されました。6月6日普天間基地所属ET-11が、沖縄県伊江島補助飛行場で緊急着陸。6月10日沖縄普天間基地所属EP-13が鹿児島県奄美空港で緊急着陸。8月5日オーストラリア東部沖で普天間基地所属EP-13が墜落、乗組員3人が死亡。8月28日普天間基地所属ET-11が岩国基地で白煙。8月29日普天間基地所属ET-11が大分空港に緊急着陸・白煙、エンジン交換。9月29日普天間基地所属ET-03が沖縄県石垣空

港緊急着陸、誘導路で停止事故と、事故が頻発しています。

この内、沖縄の安部に墜落のEP-06は、昨年10月20日から24日横田基地に飛来しています。これが昨年10月20日横田基地に飛来したときの写真です(#①写真を示す)。2ヶ月足らずで墜落事故を起こしています。もし、横田基地周辺で事故が起きたら大変な事態に陥ります。オスプレイについて、市民の安全・安心をどう守るのかお聞かせください。

(1) オスプレイの事故及び整備について (2回目)

「迅速かつ正確な情報提供を行うこと」について強く要請されたということですが、沖縄や岩国や九州で普天間基地所属ET-11が白煙を噴く緊急着陸事故を繰り返し、結局最終的にエンジン交換となりました。地元沖縄等や一部報道されてはおりますが、5大紙には必ずしも報道されていません。エンジントラブルは最悪です。横田基地周辺で起きたらとんでもなく大変な事態に繋がります。この一連の事故について、北関東防衛局等から、事故の顛末等の報告は戴けているのでしょうか。

最近の報道では、それ以外の原因での事故も頻発しているようです。

5年に1回の解体を伴う点検、修理が必要と言う説明で、木更津にオスプレイの解体を伴う点検、修理が出来る施設を作ったわけです。沖縄に配備されたのは2012年7月からですから、既に第一陣の12機は5年を過ぎています。このために事故が頻発も考えられるのではないのでしょうか、そうであるなら、少なくとも解体を伴う点検、修理が終了するまでは、飛行中止を要請すべきではないのでしょうか？市民の安全・安心をまもる立場からお答え下さい。

(1) オスプレイの事故及び整備について (3回目)

①横田基地対策特別委員会に属している私も聞いていないということは、少なくとも、北関東防衛局等からは、このことについては知らされていなかったようです。

②オスプレイの度重なる事故、緊急着陸、白煙を噴き、結局エンジン交換の事実が確認されています。公道を走る車であっても、白煙を出しながら走っていたら、後続車は良い感じがしません。高速道路だったら、後続車は前の車をどう避けるか対策を考えます。もっともパトカーが整備不良車として直ちに停止を命ずると思います。

ましてや、空を高速で飛び、中学校のプール程の大きさの物体が、いつ空から落ちて来るかも知れない、こんな事、市民の感情として絶対に許せないのが普通ではない

でしょうか?。少なくとも5年の期日が到来したオスプレイについては、定期の解体・点検・修理を直ちに実施すること、完了していない機体は車検を受けていない車が走っているのと同じ、もっと怖いわけで、飛行中止を要請することを求めまして、次に移ります。中項目2、

(2) 重大事故の危険が増す横田基地について

続々と強化される横田基地の訓練、ジェット戦闘機、大型ヘリ、ステルス戦闘機、パラシュートの人員・物料投下訓練。中でも、ここ1年余りで、横田基地飛来機 A/V-8B、F/A-18、CH-53E、MV-22 の4機が墜落等の事故を起こしています。うち1機は(1)で述べた MV-22 オスプレイです。さらに、重大欠陥機 F-35 ステルス戦闘機の飛来、11月15日のパラシュート物料投下訓練中の事故、昨日、連絡が来た C130-J のフレアの一部落下事故と、枚挙に暇(いとま)がありません。いつ墜落・炎上事故などが発生してもおかしくない状況について、加藤市長はどう捉えているか、お聞きかせ下さい。

11月15日(水)午前9時50分頃、パラシュート物料投下訓練中の事故について、起こしてはいけない事故でしたが、起きてしまいました。事故発生時の飛行高度、投下物資の形状(縦横高さ)、重さについてはどうだったのか、つい先日、12月5日(火)「横田基地における物料投下訓練中の事故について(その3)」で議員各位に連絡されましたが、改めてここで、お聞かせ下さい。

(2) 重大事故の危険が増す横田基地について (2回目)

①昨年9月22日沖縄で AV-8B ハリアー戦闘攻撃機が墜落事故を起こしましたが、事故発生から4ヶ月余り前の5月4日、横田基地に同一機が飛来した際の写真です。

(#②写真を示す)

②F/A-18 ホーネット艦上戦闘機、戦闘攻撃機(VE201)昨年12月7日高知県沖で墜落事故を起こしましたが。昨年12月3日、4日と横田基地に飛来しています。わずか3日後に同一機番が事故を起こしています。昨年12月4日横田基地に飛来した時の写真です(#③写真を示す)。同じく、同一機が昨年10月3、4にも横田基地に飛来、離発着しています。これがその写真です(#④写真を示す)。

③今年10月11日沖縄県の高江で着陸、炎上した CH-53E(YE04) スーパースタリオン、大型輸送ヘリコプターです。横田基地には8月29日午後0時40分頃、北海道内などで行われた日米共同演習(8月10～28日)で、三沢基地に展開していた飛

行隊 CH-53E へり 4機が飛来。9月1日 15時 34分横田基地を離陸したときの写真がこれです (#⑤写真を示す)。正面に 04 と表示があり CH-53E(YE04)事故機です。

横田を離陸後、約1ヶ月余りで事故を起こしたわけです。事故現場である沖縄の高江では、消失したストロンチウム90約500マイクロキュリー、1,850万ベクレルという、物騒なお土産まで残しました。

④米国防省運用試験・評価局が今年1月に米議会に提出した最新の年次報告書で、F-35ステルス戦闘機での試験器に対して、「重大な276項目の欠陥を特定した」と明記されていることが分かっています。

F-35は欠陥を抱えたまま、岩国基地に海兵隊機10機配備され、航空自衛隊に4機納入されています。トランプ大統領が横田基地に来る少し前の11月2日、オスプレイのように垂直離着陸機能を備えたステルス戦闘機 F-35B^{かたばんき}型番機の2機が横田基地に飛来しています。これがその写真です (#⑥写真を示す)。

横田基地に飛来して、わずか3日後とか、数ヶ月以内に墜落や炎上事故を起こす。重大欠陥機の指摘を受けながら横田基地に飛来するなど、基地に起因する様々な問題が続々と押し寄せています。しっかりと対応宜しく願いいたします。

⑤11月15日(水)発生のパラシュート物資投下訓練中の事故、これが事故発生時の写真です (#⑦⑧⑨⑩写真を示す)。わかりやすく連続して2枚に表示してみたのがこの写真です (#⑪⑫写真を示す)。市民の写真撮影で動かぬ証拠があったから認めたと、言うことでしょうか?とんでもない話です。貨物は、ベニヤ板の箱で、縦約91センチ×横約61センチ、高さ約30センチ、重さは約30kgで、飛行高度の情報提供はない。起こしてはならない事故を起こしておきながら、飛行高度も示さない不遜な態度を許してはなりません。

私が11月24日(金)衆議院議員会館で、国会議員とともに防衛省のレクチャーを求めた際の回答も来ていますが、落下による衝撃の大きさは不明である。高度については運用に関することであるため、お答えできないというものでした。人為的ミスについては、「米側からは、投下物資にパラシュートが適切に装着されていなかったため発生したとの回答を得ている。」というものです。

とんでもない話です。空から突然に、こんな大きな重いものが落ちてきて直撃されたら、間違いなく死亡事故に繋がります。

1999年(平成11年)5月5日、C-130が砂袋を誤投下、町田市内の民家で屋根を突き破って落下した事件がありました。当時は砂袋で、これでも大変な話ですが、

パラシュートが付いた状態で、約170kg程度で、7kgであり、今回ほど大きく、重くなく、しかも、高空でパラシュートが、外れたと言う事ではありませんでしたが、大騒ぎでした。

横田基地において日常的に投下訓練で投下する物の重さ及び大きさはどのようなか、年間どれくらいの頻度で行っているのか、夜間にも投下訓練を行っているのか、こちらも、12月5日(火)「横田基地における物料投下訓練中の事故について(その3)」で、議員各位に連絡されましたが、改めてお聞かせ下さい。

(2) 重大事故の危険が増す横田基地について (3回目)

いつの間にか、こんな大きな物料投下訓練を行っていたということです。夜間は証写真もなかなか取れないので、やりたい放題ということでしょうか。福生市の行政面積から横田基地への提供面積を除くと6.84km²です。2017年1月1日の人口が、58,554人ですから、人口密度は約8,560人/km²と大変人口密度の高い住宅街です。まかり間違えば重大な事故になるような訓練は直ちにやめるよう求めて、次に移ります。

中項目3 (3) 「北朝鮮の攻撃」と、市民の安全・安心について

- ①北朝鮮の攻撃と言う不安がある中で、Jアラートについて、想定する警報の効果について、今までにどのような被害を想定した訓練を行っているのか、お聞かせ下さい。
- ②弾道ミサイル等武力攻撃事態等への対応ですが、横田基地にはまだ休戦状態ではあるが戦争は終結していないため、横田基地が弾道ミサイルや核攻撃の真っ先に標的となりうる国連軍が、米軍横田基地に駐在しています。これについて、対処、方途はどのようにになっているかお聞かせ下さい。
- ③北朝鮮が最近、電磁パルス攻撃をほのめかす情報を発信しています。被害想定と、対処、方途について、どのようにされることになっているかお聞かせ下さい。

(3) 「北朝鮮の攻撃」と、市民の安全・安心について (2回目)

①堅固な建物、壁のあるところに避難と言われても近くにそのようなものが無いなど、当惑されている市民もおられました。Jアラートについて市民から寄せられたご意見等お聞かせ下さい。

②弾道ミサイルや核攻撃が行われれば、福生市民には重大な被害が想定されます。核攻撃なら全滅の可能性すらあります。もちろん、福生市内だけで済む問題でもあり

ません。絶対に避けたいこととだけ述べます。

③電磁パルス攻撃の被害想定については、把握されていないとのこと。

日本の専門機関では2015年頃からいろいろと、研究が進んでいるようです。

防衛省の政策研究の中核として、主に安全保障及び我が国最大の戦史研究センター、自衛隊の高級幹部等育成等機能を持つ、防衛研究所があります。ここで、2016年に研究委員、鬼塚隆志氏の「高々度電磁パルス (HEMP) 攻撃によるインフラ破壊の脅威への対処に関する提言」が出ています。以下、高々度電磁パルスは長いので、HEMPと省略することがあります。この提言骨子の一部を以下紹介します。

「HEMP 攻撃は、遠隔操作または自動爆破装置付の一発の核爆発装置、それを高々度に上げるロケットあるいは気球等の運搬装置があれば可能である。弾道ミサイルに求められる高度な誘導機能は不要であり、貨物船に核爆発装置と運搬装置を積み、密かに対象国沿岸に近づき、高々度で核爆発させるだけで、(広い地域) 広地域の電気・電子に頼るインフラを破壊することが出来る。その一発の核弾頭の爆発による高々度電磁パルス (HEMP) 攻撃の破壊効果は極めて大きく、被害を受ける地域は、地上近くでの同規模の核爆発による人員殺傷・建造物破壊を引き起こす範囲よりはるかに広大となる。具体的には、地上10キロメートルにおける HEMP が及ぼす被害地域は半径数100キロメートル、400キロメートルまで打ち上げれば半径2000キロメートルを超える地域が影響を受けるとみられる。もし、我が国上空400キロメートルで突然核爆発が起こり、高地域の社会インフラを支える電気・電子機器システムが瞬時に機能しなくなったなら、全ての都市の電力は完全に停止し、想像を絶する事態となる。食料や生活用品の製造・流通は止まり、行政サービス・交通・運輸・金融・通信等のシステムは麻痺し、医療・介護等も行き届かなくなる。人々の自宅では電気は勿論のこと、水道、ガスも止まり、食事、入浴、トイレもままならず、たよりとなるはずの役場等の公共機関・施設等の機能も麻痺し、国民生活は大混乱に陥るであろう。…云々と続き、復旧には長時間、数週間から数年間かかり、結果として飢餓および疾病等が発生・蔓延し、大量の人員が死に至ることが想起されるなど、記載があります。

また別の読み物でも同様の大変な内容が紹介されていますが、核の規模は広島型の2/3程度、TNT 火薬換算で10キロトンの威力で、読み上げたような被害が想定できること、アメリカ本国の中央付近で同様な威力の核爆発を400キロメートル上空で起こした場合、同様の理由から1年後には米国の9割の命が失われるとも言われています。

私がなぜ、このことを紹介したかと言うと、現実に危機が迫っていることを言いた

かったからです。安倍首相が「対話のための対話は意味がない」と異常な「対話否定」論に立ち、「すべての選択肢はテーブルの上にあるという米国政府の立場を支持する」と、アメリカによる先制的な軍事力行使を公然と支持し、トランプ大統領に言われるまま新たな武器を購入する。イージス艦や、これから導入するイージス・アショアを数千億円から数兆円もかけて購入します。これらの兵器で、北朝鮮の核を高々度で撃ち落とした場合、高々度電磁パルス (HEMP) の効果により、滅びるのは北朝鮮、韓国、日本人のほぼ全て、中国やロシアの一部であることです。国民の膨大な税金をつぎ込み自らを滅ぼす。正に天につばする行為以外の何物でもありません。

1994年の北朝鮮の核危機のさい、軍事攻撃を本格的に検討しながらも、最後は直接対話に踏み切った元米国防長官の発言に耳を傾けるべき時です。ペリー元米国防長官は「日本の指導者は、外交の失敗がもたらす帰結を理解する必要があります。外交の不在や見境のない発言は、戦争に、非常に壊滅的な核戦争に突入する条件を醸成してしまいます」と指摘し、実行可能な軍事オプションは存在しないと強調し、「我々は外交を真剣に検討すべきです。私は安倍首相に、トランプ大統領との議論で、こうしたことを促すことを期待しています」述べています。

今年7月7日、国連で歴史的な核兵器禁止条約が、国連加盟国のほぼ2/3の122ヶ国の賛成で採択され、9月から各国の署名が開始されています。条約の成立は、国際政治に新たな変化をつくり出しつつあります。

核兵器廃絶国際キャンペーン、ICAN のノーベル平和賞の受賞がきまり、授賞式が12月10日にオスロで開かれます。ICAN は世界101ヶ国468の団体が参加する国際的なNGO団体です。

世界が核兵器禁止・廃絶に向けて大きく動きつつあります。ここに希望を持ちたいと思います。

最初の一点お聞かせ下さい。

(3) 「北朝鮮の攻撃」と、市民の安全・安心について (3回目)

ありがとうございます。全国瞬時警報システム、Jアラートは北朝鮮からの攻撃に対しては、時間的にも間に合わないし、知ったところで避難対策は皆無に等しいので、無力かと思います。安倍政府の止めどもない国防費増大の宣伝の道具にされただけかと思います。Jアラートは地震、台風など自然災害等では有用かと思いますので、そうした周知に是非役立てていただきたいと思います。

お聞かせいただいた内閣官房の「国民ポータルサイト」は是非、みなさん一度は覗いてみて下さい。私が述べたように、北朝鮮からの攻撃に対しては、ほぼ役に立たないことがお分かりいただけます。

戦争は絶対避けなければなりません。特に核の使用は絶対に許してはなりません。日本民族、アジアの民族が生き残る道の模索が必要です。

残念ながら、日本の政府とアメリカは北朝鮮への挑発とも取れる行動を繰り返しています。12月4日から明日、8日まで行われる米韓両軍の合同訓練「ビジラント・エース18」は、12,000人の米兵と230機の米韓の航空機が参加して行われています。F-22 ステルス戦闘機6機、F-35 ステルス戦闘機18機、EA-18G 電子戦機6機、F-15C 戦闘機10余機、F-16 戦闘機10余機等々で、史上最大規模です。危険ばかりを増幅させています。

唯一の被ばく国として、日本政府主導で、核兵器禁止・廃絶に向けて、世界が大きく動くよう尽くすこと、北朝鮮に対してもこの立場から、話し合いでの解決努力をすることこそが、もっとも説得力のある解決策であると述べて、次に移ります。

中項目4、(4) 横田基地友好祭での法令遵守について

横田基地に起因する問題は騒音問題、訓練飛行問題等ではありません。

今回、横田基地友好祭の会場で銃・砲などをだれでも自由に触らせる行為、明らかな銃刀法違反の展示行為が行われました。これが平和委員会の方から、提供いただいた写真です(#13⑭写真を示す)。子どもさんを抱え上げて、機関銃の引き金を引かせています。もう一つは子どもが単独で、銃座を操作しています。

そこで、お聞きします。

- ①「銃刀法違反」の展示行為について、どう対処されたか
- ②友好祭の会場では、日本の法律は適用されないのか
- ③教育委員会の「平和教育」「法律を守る」教育との関係は、どうなっているのか
- ④今後に向けた対処はどうか

以上、4点についてお聞かせ下さい。

(4) 横田基地友好祭での法令遵守について (2回目)

①事実関係の詳細を今もって把握されていないとのことです。先程の写真(#14⑭写真を示す) 子どもが単独で、銃座を操作している方ですが、真後ろにビルが写っています

す。この左端に写っているのが、自衛隊航空総隊司令部のビルです。これは、翌日の雨の中で私がほぼ同じ位置で撮った写真です（#⑮写真を示す）。黄色のテープにマークと↓が、小さくて見えづらいかもかもしれませんが、航空総隊のマークの表示が見えます。右端のビルが、子どもの背景として写っていたビルです。（#⑭写真を示す）こんなに近くの出発事も把握出来ていないで、国を守れるのか不安になります。

②友好祭の会場では、米軍には日本の法令は適用されないということが、確認されました。私は、友好祭という以上、日本の風俗、習慣、文化、法律を尊重して振る舞うことだと思いますが、大変な誤解だったようです。

③教育委員会におたづねしたので、教育委員会に答弁をお願いいたします。
議長、なぜ教育委員会の答弁がされないか、ご説明下さい。

④基地の中は治外法権だから米軍には日本の法律は及ばない、要請するのみとの立場のお答えかと思いますが、友好祭である以上は、互いの風俗、習慣、文化、法律を尊重する場でもあると思います。アメリカは自分の身は自分が守るという文化で、良くも悪くも、銃砲所持の文化の国です。しかし、日本は銃刀法と言う法律で、日常的には銃刀法に反しない範囲が決められ、基本的には日本国民は国家権力によって守られるので、自らは武装しない文化が根付いており、聖徳太子の時代から「和」を持って尊しとなす。と言う文化の国ですので尊重下さい。くらいは言えるのではないのでしょうか？

友好祭会場で銃刀法を自由に触らせる問題では、横須賀の例ですが、市民団体が抗議し、告訴状を裁判所に提出、今後、同様の行為はしないと司令官が謝罪したため、告訴を取り下げた経緯があります。自衛隊では当然とも言えますが、陸、海、空軍に一般の方には自由に銃砲等を触らせないよう通達も出されています。この点、良く弁^{わきま}えて今後の要望を、されるようお願いいたします。一点だけ、お願い致します。

（４）横田基地友好祭での法令遵守について（３回目）

分かりました止むを得ません。私の希望としては、教育委員会が日本の子どもたちの教育・文化を守る立場から、横田基地に物申すことがあるべき姿と考えます。

教育基本法前文には、われらは、さきに、日本国憲法を確定し、民主的で文化的な国家を建設して、世界の平和と人類に貢献しようとする決意を示した。この理想の実現は、根本において教育の力にまつものである。われらは、個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成を期すとともに、普遍的にしてしかも個性ゆたかな文化

の創造をめざす教育を普及徹底しなければならない。ここに、日本国憲法の精神に則り、教育の目的を明示して、新しい教育の基本を確立するため、この法律を制定すると、あります。この精神に立てば当然かと思えますと述べて、次に移ります。

中項目 (5) 環境評価の実施を求めることについて

日本は独立した国家のはずですが、日本人の人権は、米国にある遺跡や動植物の保護・保全以下の地位であることが現状です。

住宅地上空を傍若無人に飛行訓練の米軍の問題です。

F/A-18C と F/A-18D の2種のホーネット艦上戦闘機、戦闘攻撃機の4機が、11月18日(土)に飛来し、次々とタッチアンドゴーをしてから着陸しました。19日(日)は2機編隊で、離陸・着陸を繰り返しました。12月1日(金)はF/A-18E スーパーホーネット艦上戦闘機、戦闘攻撃機の4機が、12月2日(土)と、3日(日)はF/A-18C と F/A-18D の2種のホーネット艦上戦闘機、戦闘攻撃機の4機が、ローパス、離発着等を繰り返しました。12月に入ってからの分については、基地対か次の一般質問の機会に行うとして、11月の際の騒音被害の実態について、お聞かせ下さい。

- ①F/A-18 艦上戦闘機のピーク時騒音値はどのようだったかお聞かせ下さい。
- ②土、日という本来飛行は避けることになっている F/A-18 艦上戦闘機の訓練飛行への苦情状況は、どうだったかお聞かせ下さい。
- ③米国並に厳格且つ、住民意見を組み込んだ環境評価実施についてお考えをお聞かせ下さい。

(5) 環境評価の実施を求めることについて (2回目)

①11月18日午後5時12分の114.5デシベルとのこと。F/A-18 艦上戦闘機が南側滑走路にタッチアンドゴーを行ったときに符合するようです。

平成29年度横田基地対策に関する要望書(概要) 関係省庁への要望事項

① 基地の整理・縮小・変換を含めた必要な措置を講ずること。また、米空母艦載機着陸訓練を実施しないこと。タッチアンドゴー訓練は正にこの事を言っているわけですが、本当にとんでもない騒音です。

②市民からの苦情がなかったと言う事ですが、団体からはなかったのでしょうか？

池田議員、私、「横田基地の撤去を求める西多摩の会」の世話人5人が、11月20日(月)に北関東防衛局横田事務所に、19日(日)の座り込み行動会場で採択された「パラシュート物資投下訓練中の事故の抗議文」を提出するとともに、18、1

9日のF/A-18の騒音苦情も述べています。特に19日の集会中の発言者の声が、激しい騒音のため完全に描き消されたことも説明しています。お聞かせ下さい。

③オスプレイの関係で、沖縄のMV22オスプレイ配備の環境評価と、福生の横田基地に配備予定のCV22オスプレイの環境評価で良く分かっていますが、最初に安全です。科学的な解明なしに安全です。しかも、より危険度の高いCV22オスプレイの環境評価は異常に中身が簡略化され、あっさりとした申し訳程度のものであることも分かっています。だからこそ、米国並に厳格且つ、住民意見を組み込んだ環境評価実施についてお考えをお聞かせ下さいと、申したわけです。

アメリカの環境評価基準は大変厳格なものです。動植物の生態系に影響は及ばないか、周辺に遺跡はないか、ある場合はそこに影響が及ばないか、周辺住民の日常生活に支障をきたすことはないか、周辺地域住民の意見聴取も行います。周辺地域住民と言っても、数キロの間に数軒の民家ですから、福生市のように基地への提供面積除きで人口密度は約8,560人/k㎡と言ったら、アメリカの方にクレイジーと言われてしまいます。

日本は独立国で、アメリカの属国ではないのですから、きちっとアメリカの基準で再調査を実施すべきです。確かに絶対に基準を満たさないことは確かです。

一点だけお聞かせ下さい。

(5) 環境評価の実施を求めることについて (3回目)

福生市に対しては、市民及び団体からの苦情はなかったとのこと。北関東防衛局や横田基地には、どの程度の苦情が寄せられているかは分かりますか、お聞かせ下さい。

(5) 環境評価の実施を求めることについて (4回目)

国からの回答については、基地対で伺^{うかがい}ます。

次に移ります。

大項目2. 市内のバリアフリーへの取り組みについて